

# グラフで見る中国経済 2022年2月号(No. 153)

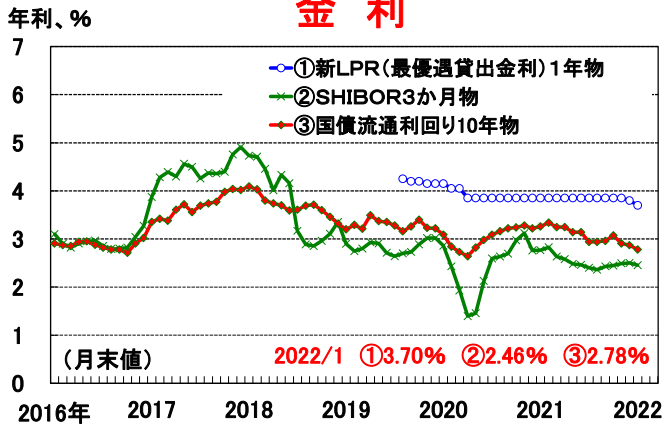
中国の21年10~12月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+4.0%(前期は同+4.9%)と、20年4~6月期以来の低成長となった。10~12月期は、習体制による不動産投機取引の引き締め策強化を受けて、固定資産投資が前年比-7.8%と減少幅が拡大した。一方、小売売上高も同+3.5%と減速した。その背景には、中国国内におけるコロナの市中感染の再拡大がある。こうした中、1月に入って中国政府はインフラ建設の加速や個人消費の促進といった財政出動を打ち出し、また中国人民銀行(中央銀行)も前月に続いて追加の利下げに踏み切った。

### 【足元の景気判断】

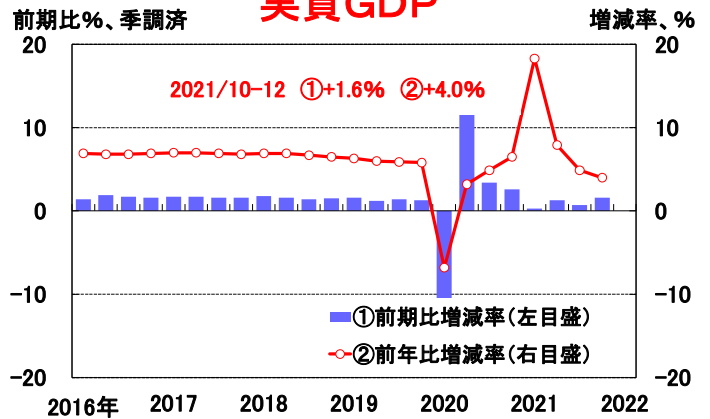
指標	景気全般	輸出	固定資産投資	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↓	→	↓	↓	→	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

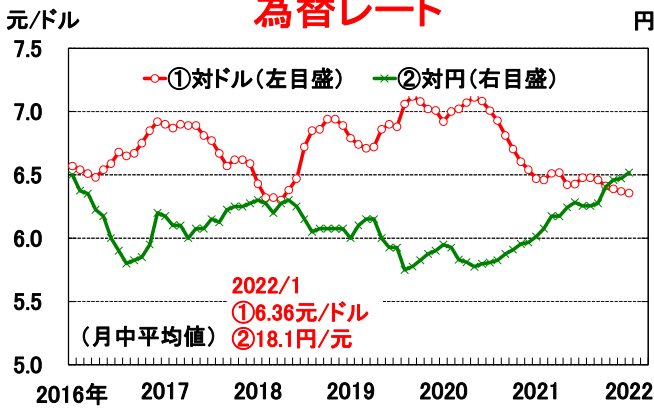
## 金利



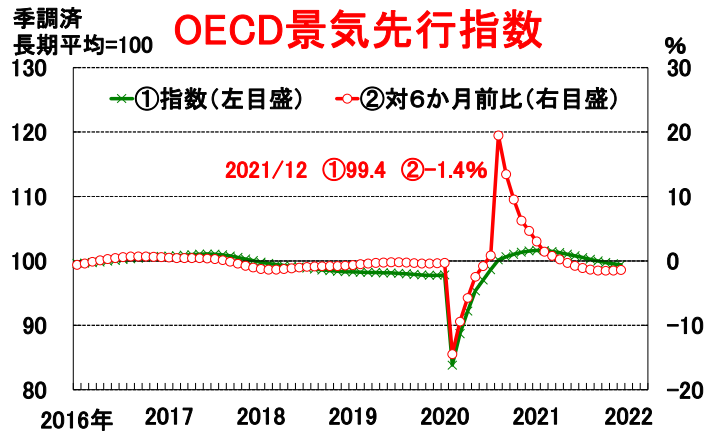
## 実質GDP



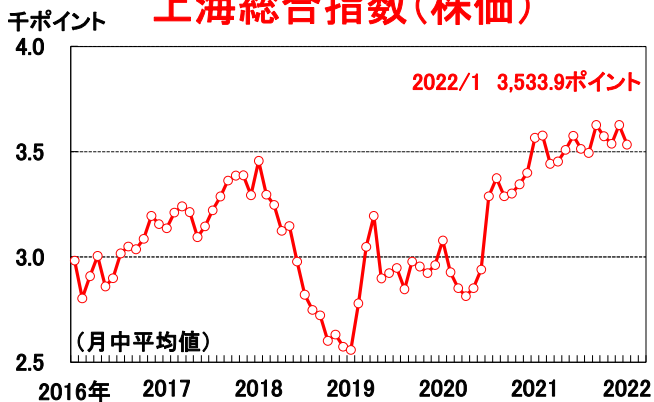
## 為替レート



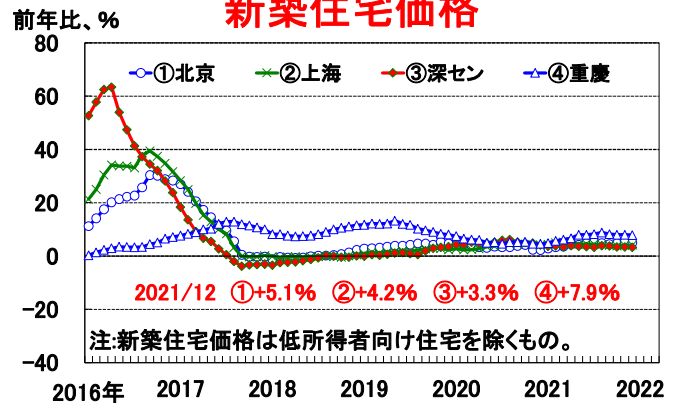
## OECD景気先行指数



## 上海総合指数(株価)



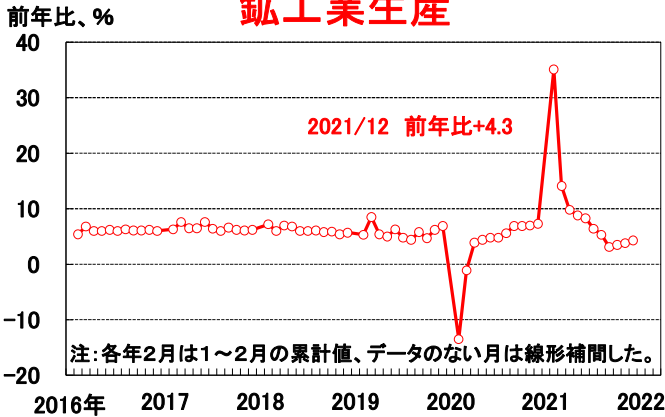
## 新築住宅価格



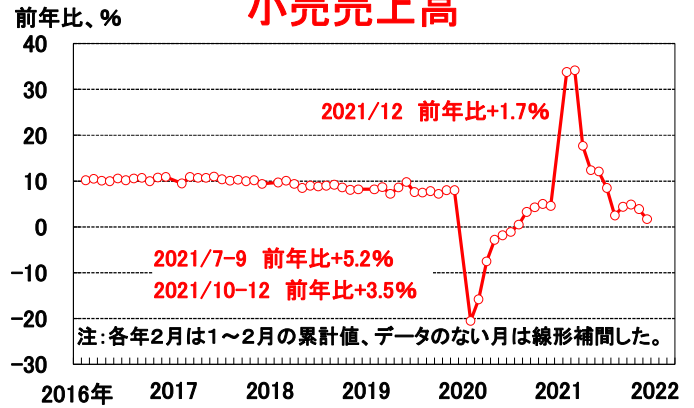
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

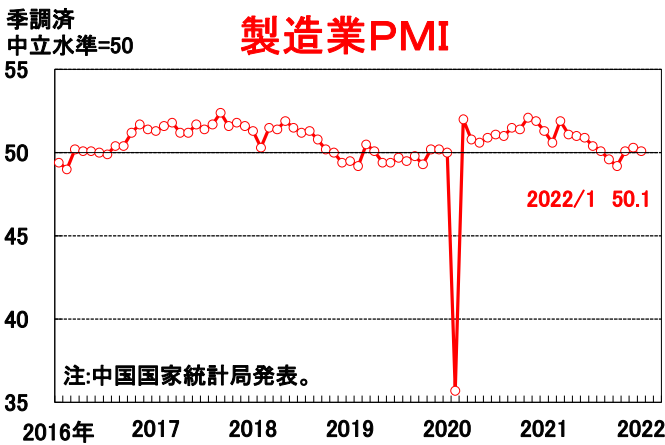
### 鉱工業生産



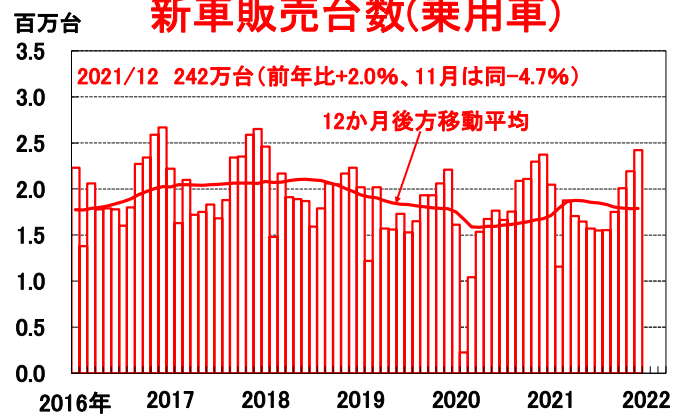
### 小売売上高



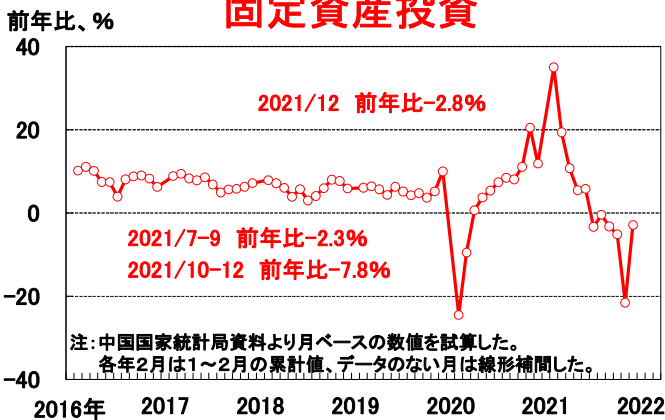
### 製造業PMI



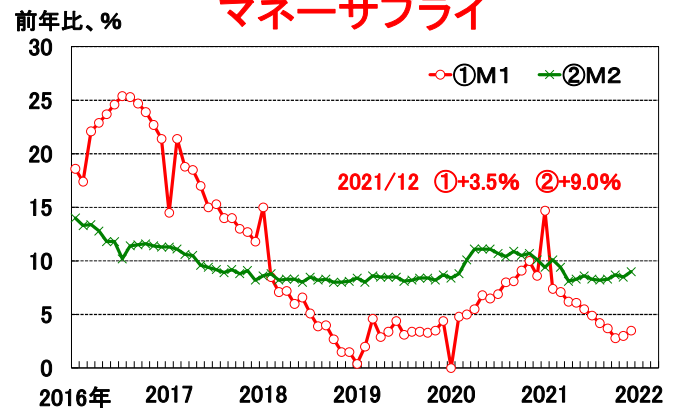
### 新車販売台数(乗用車)



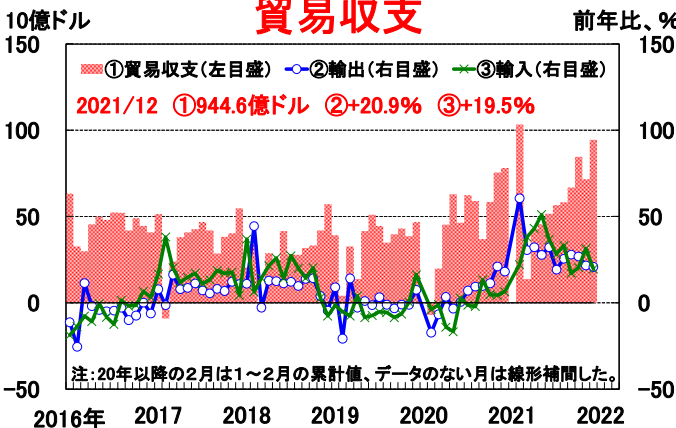
### 固定資産投資



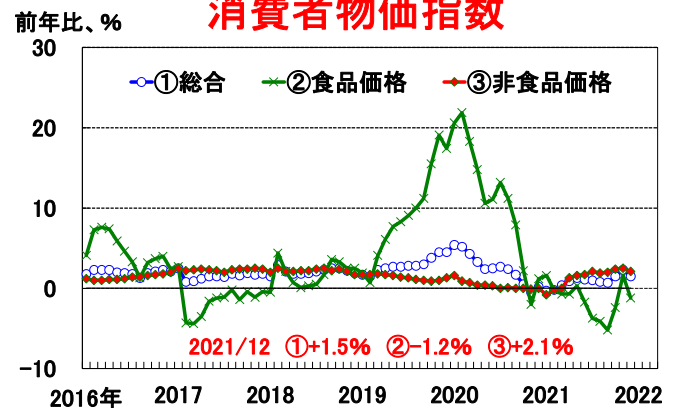
### マネーサプライ



### 貿易収支



### 消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽车工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。